

# 日本全土の洪水氾濫被害推定の高精度化

東北大学工学研究科 風間 聡

## 背景・目的

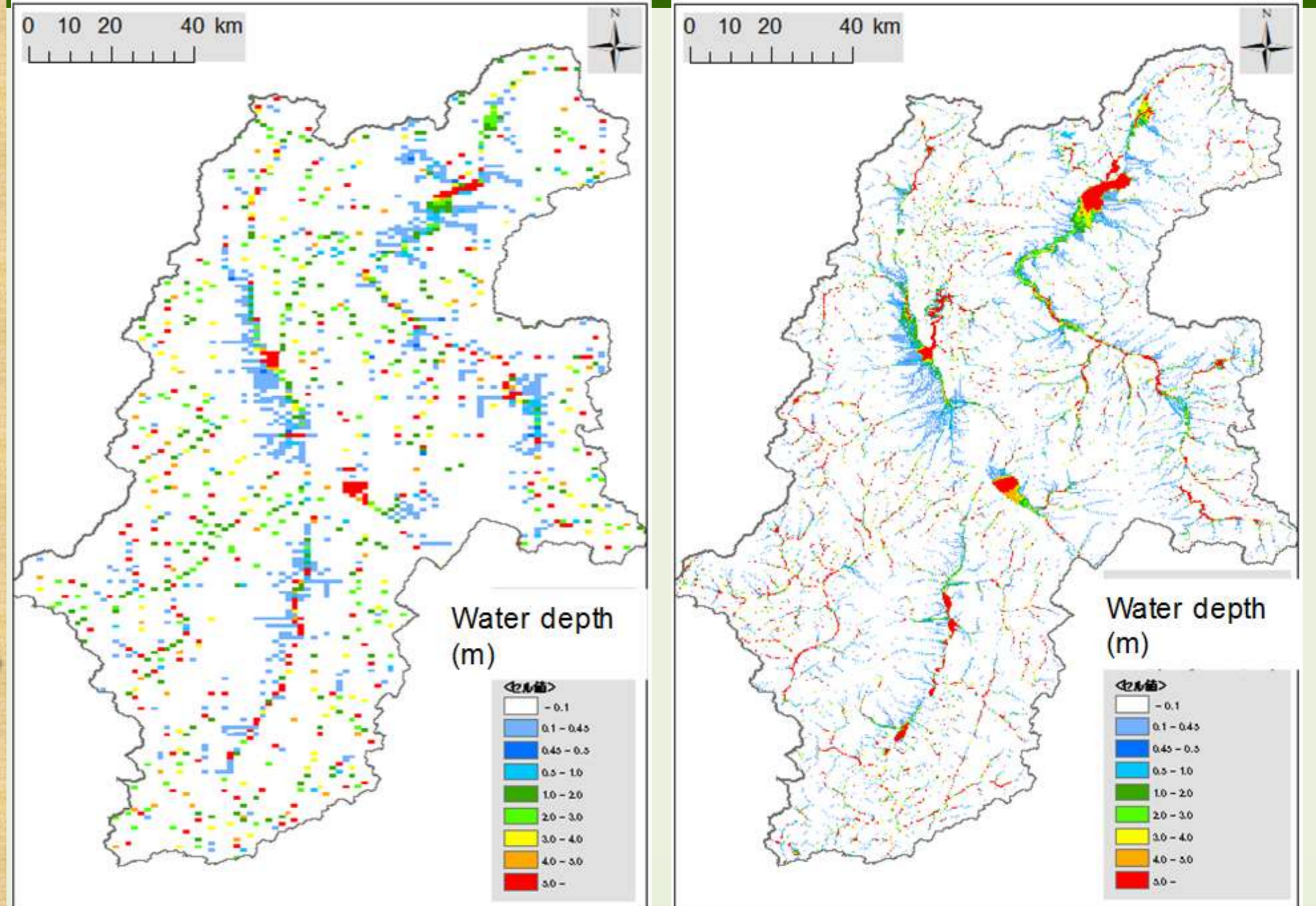


2018年西日本豪雨

近年、日本各地で洪水被害が多発しており、気候変動の影響で豪雨の増加が見込まれる。

- 危険な地域はどこか？
- 高精度の推定が望まれる

## 洪水氾濫計算 分解能の違い



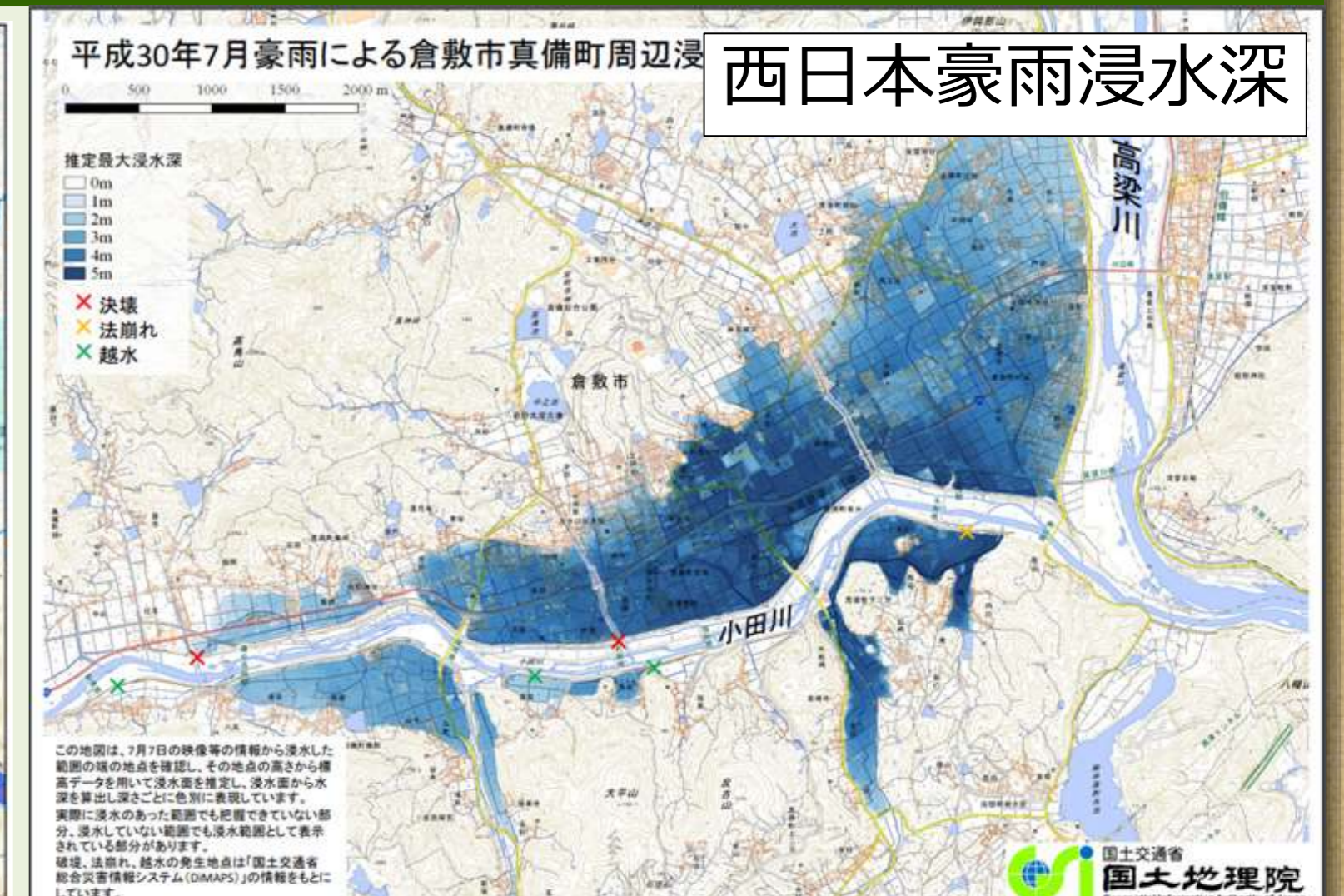
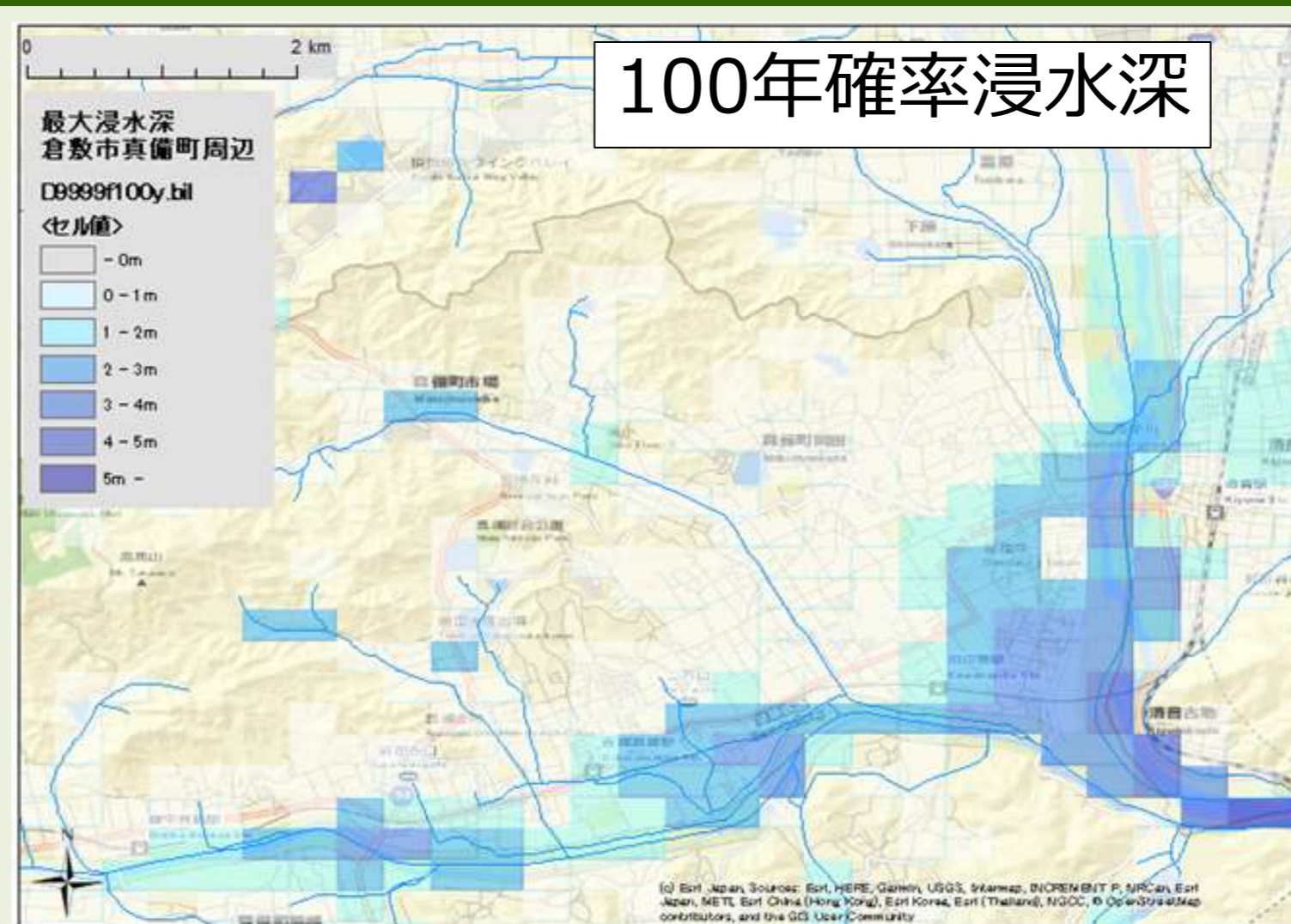
解像度の違い  
左1km右250m

100年確率の洪水浸水深分布  
長野県の例 異なる地域がある

## 精度の検証と将来の目標

### 結果の精度

・西日本豪雨の高梁川の洪水氾濫において相違ない結果



### 将来の目標

- ・洪水氾濫精度がより詳細に実現出来れば、リスク情報を細かに発信できる
- ・家や工場、道路の建設適地を知ることができる
- ・洪水時にリアルタイムで危険地域を特定できる
- ・計算機の高性能化によりさらに細かい情報が発信できる



スーパーコンピュータ  
SX-ACE